



連れ去りや性犯罪から 子どもたちを守りましょう

幼児の外出は保護者同伴が原則ですが、保護者が目を離した一瞬の隙を突いて、連れ去りや性犯罪などが発生します。大切な子どもたちを守るために、保護者は子どもから目を離さないことを再確認するとともに、万が一の時の身の守り方を伝えていきましょう。

知らないひとからよばれたら



知らないひとから たのしい ことに さそわれても
ぜったいに ついて いかないよ。もしも その ひとが
きみの なまえを して いても あんしん しないでね。

こえを かけられない ために



あるく ときは おうちの
ひとと てを つなぐ。



おうちの ひとから みえる
ばしょで あそぶ。



知らない ひとに じぶんの
なまえを おしえない。



えんの そとに であら
なふだを はずす。

おぼえよう いかのおすし

いか…知らない ひとには お…おおきな こえて さけぶ。
ついて いかない。 す…すぐに にげる。
の…知らない ひとの し…おうちの ひとに しらせる。
くるまに のらない。

保護者の方へ 小学生になると、子どもたちだけで行動する機会が増えます。自分の安全は自分で守れるように、今のうちからしっかり指導していきましょう。